



学校教育目標 社会に貢献しながら、  
自立する生徒の育成  
～気づき、考え、実行する～

# やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある  
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を  
解決するための「連携・協働」を推進する



## 恒例の**芸術鑑賞** 劇団四季「アラジン」

12月5日(木)、全校生徒で、劇団四季ミュージカル『アラジン』を観劇しました。これは、道志村の子育て支援事業(「道志村子育て支援パッケージ」)の取り組みの一つとして、実施しています。まずもって、関係各位の皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

さて、当日、道志中一行(生徒・教職員・村教育関係者総勢37名/貸切バス)は、8時30分、学校を出発しました。



昼食は、東京・汐留シオサイトにある、三井ガーデンホテル汐留イタリア街で、ランチビュッフェをいただきました。この周辺一帯は、かつて貨物専用だった旧汐留駅跡地を、再開発して、新たに生まれた人気の観光スポットです。

また、劇団四季の専用劇場、電通四季劇場[海]は、レストランやショップが立ち並ぶ、商業施設:汐留シオサイトの中核をなす「カレッタ汐留」にあります。客席(1200席)のどの席からでも、キャストのダンスや歌、迫力ある演技、舞台装置や演出の素晴らしさを感じられるよう、設計されているそうです。

今回観劇した『アラジン』は、ディズニーのアニメーション映画で、これまで、オペラ、バレエ、テーマパーク等々、最近では、実写版映画としても公開されています。アラジンとジャスミンが、魔法の絨毯に乗って大空を舞うシーンは圧巻で、キラキラ輝く夜空に浮かぶ魔法の絨毯は、とても幻想的でした。「A Whole New World」



を歌う二人の姿、そして、魔法のランプから飛び出すジーニーが歌って踊って笑わせて…等々、まるで、映画の中に入り込んだかのような感覚でした。

生徒たちにとっては、最初から最後まで、観るものすべてにワクワクドキドキの連続で、あっという間の2時間45分でした。世界トップレベルのパフォーマンスを目の当たりにして、多くのことを吸収してくれたことと思います。観劇後、「迫力があってすごかった」「とても面白かった」「また観たい」等といった、たくさんの感想を聞くことができました。

## 芸術鑑賞のねらいは？

ところで、多くの学校において、このような文化芸術に触れる機会を設けていますが、どのようなねらいがあるのでしょうか。



それは、日常の学校生活では、なかなか出会うことのない文化芸術に、実際触れることで、その臨場感を体感できるということです。特に、中学生(10代半ば)という多感な時期だからこそ、感じるものも大きいと思います。※「豊かな心の育成」そして、これは、キャリア教育にもつながると考えます。ストーリーの面白さ、舞台演出等の素晴らしさもさることながら、超一流のキャストの皆さんを見て、「一体、どんな人が演じているのだろう」といった、キャスト自身への魅力にも、興味関心を抱くかもしれません。1つこのことを極めた、プロフェッショナルに触れたことで、生徒自身の生き方(将来)を見つめるきっかけを与えてくれます。

このように、人間が生み出した文化芸術に触れることは、その素晴らしさを感じると共に、これまで出会ったことのない、異なる価値観との出会いの場であると考えます。

改めて、このような機会を与えていただいた、道志村及び関係各位の皆様へ、重ね重ねお礼申し上げます。